

## 花壇苗の品種特性と東京に適した品種の選定\*

椿 眞由己・吉岡 孝行

キーワード：花壇苗，ビオラ，フレンチマリーゴールド，ペチュニア

花壇苗の品種は海外や国内の限られた地域で育成されており、数多くある。しかし、開発された品種が必ずしも東京での生産に適し、花壇定植後のランドスケープパフォーマンスに優れているとは限らない。そこで、市場出荷までの生育とともに、販売上の重要な要素となる花壇定植後の品種特性を調査し、生産者の品種導入を容易にするための情報を提供する（記念誌編集委員会，2000）。

なお、以下の栽培の共通事項は本資料の各項目に共通である。

用土 容量比で赤土：腐葉土：ピートモスを5：3：2で混合（以下用土と略す）。元肥は緩効性化成肥料（用土100リットル当りN = 54 g，P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> = 158 g，K<sub>2</sub>O = 54 g）を施用。

栽培管理 都内農家の慣行法に従った。

供試品種の販売会社名の略記 サカタのタネ：サ，タキイ種苗：タ，ミヨシ：ミ，第一園芸：園，シンジェンタシード：シ，ノバルティスシード：ノ，東京花壇：東，住化農業資材：住，サントリーフラワーズ：サン，白山貿易：白。

また、栽培条件の項は簡潔に記述した。

### ．秋出荷パンジーの品種特性

#### 1．栽培条件

ポット：表1の品種を、2000年7月25日に播種し、出芽までダイオクールで遮光。8月23日、本葉4～6枚で、9cmポットへ鉢上げ。追肥は液肥（20-20-20）2000倍を9月28日、10月12日に施用。播種から無加温ガラス室内で栽培。

花壇：ポット苗を11月8日に定植。株間・条間20

cm，各品種30株2反復。なお、調査時に開花終了している花は取り除いた。

#### 2．品種特性と有望品種（表1）

総開花数が最多の品種は比較的小輪の ナチュレ ブルー 次いで ナチュレ エロー で、冬期の開花数も多かった。出荷時の生育等と花壇での連続開花性ともに優れていた品種は イオナ ホワイト ， プレリユード スカーレット ， パノーラパナシエ レッドウイズブロッツ ， ナチュレ ブルー であった。

#### 3．メ モ

パンジーは従来、春の花であったが、近年では秋～春の花壇で観賞するため、秋販売が主流となっている（池田，2000）。パンジーの本来の性質は冷涼な気候を好む相対的長日植物である（Ball，1997）ため、幼苗期に徒長せず草姿が良く、耐暑性があること、及び冬期に開花が連続性することが求められている。

### ．夏まきビオラの品種特性

#### 1．栽培条件

ポット：表2の品種を2002年7月26日に播種。10.5cmポットへの鉢上げは8月26～28日。

花壇：ポット苗を10月10日に定植。株間・条間20cm，各品種30株2反復。

#### 2．品種特性と有望品種（表2）

ポット：草姿について、横張性が ビビ クリアオーシャン ， ソルベ サニーロイヤル ， ペニー

\* Varieties of Flower Bed Plants Fitted for Landscape of Tokyo Towns. By Mayumi Tubaki and Takayuki Yoshioka (Received September 20, 2004 ; Accepted November 20, 2004)

表1 パンジーの品種特性

品種名	販売会社	10.5cmポットでの生育 <sup>a)</sup>					開花数		評価 <sup>d)</sup> ポット
		株張 (cm)	株高 (cm)	葉身長 (cm)	葉柄長 (cm)	花径縦 (cm)	12下~ 2下 <sup>b)</sup>	総開花 数 <sup>c)</sup>	
アリル クリアーエロー	サ	8.6	4.1	3.5	2.3	6.7	153	737	
アリル クリアースカーレット	サ	7.3	3.6	2.9	2.0	6.1	172	725	
アリル クリアーパープル	サ	7.0	4.4	2.9	2.6	6.4	250	816	
アリル クリアーホワイト	サ	10.2	4.0	3.3	2.3	6.5	163	940	
アリル クリアーライトブルー	サ	7.3	5.3	3.1	2.9	6.8	218	791	
イオナ ホワイト	タ	8.5	4.6	3.6	2.2	6.5	254	1067	
コロッセス イエローウィズブロッチ	ノ	7.7	4.0	3.2	2.3	7.9	94	504	
コロッセス ブルーウィズブロッチ	ノ	8.5	4.4	3.2	3.0	6.5	168	750	
コロッセス ホワイトウィズブロッチ	ノ	8.5	4.0	3.2	2.2	8.2	133	695	
コロッセス レッドウィズブロッチ	ノ	8.6	4.1	3.3	2.7	7.3	68	481	
コロッセス ローズウィズブロッチ	ノ	7.0	3.5	2.9	2.0	7.1	123	592	
コンテッサ ホワイトブロッチ	園	6.1	3.9	2.5	1.7	5.3	121	1433	
ナチュレ エロー	タ	7.9	4.4	2.7	2.9	3.5	395	3010	
ナチュレ ブルー	タ	9.0	5.9	3.5	2.5	4.3	667	2794	
パナーチェ ホワイトブロッチ	ミ	9.1	3.8	3.1	2.5	4.9	266	1520	
パノーラバナシェ レッドウィズブロッチ	園	6.8	3.1	2.7	1.8	5.0	319	1348	
パパラジャ	サ	6.4	3.4	2.9	1.9	6.4	45	540	
ピンゴ イエローブロッチ	ミ	6.4	5.0	3.3	2.3	7.3	56	432	
ピンゴ ホワイトブロッチ	ミ	8.1	4.8	3.3	2.5	6.7	125	798	
プレリウド スカーレット	園	6.6	3.4	2.7	2.0	5.2	285	1164	
メジャー ゴールデンアイ	園	8.5	4.6	3.5	2.7	6.3	136	662	
メジャー ゴールデンスカーレットアイ	園	7.0	4.0	3.2	2.0	6.2	139	825	
ラリー ホワイトブロッチ	ミ	9.2	5.4	3.5	3.1	6.4	157	1205	

a) 2000年9月8日調査。

b) 12下~2下:冬期(12月下旬~2月下旬調査,3回,各回30株計)の総開花数。

c) 試験期間(2004年10月下旬~2005年5月下旬調査,8回,各回30株計,2反復)の総開花数。

d) ポットにおける生育のそり等の評価:2000年10月24日種苗審査会結果, は優れた品種。

イエロージャンプアップ に認められた。ドーム状の草姿の ビビ・ライトローズウィズブロッチ など10品種はポットでの評価が高かった。花径の品種間差は縦径,横径とも約1cmあった。80%の株が開花に到った日は10月4日~10月30日と品種による差が大きく,開花揃いにも品種間差があった。

花壇:定植後の開花数は ソルベ イエローデライト 等で多く,冬期の開花も多かった。12月20日調査時に花の傷みが,花色の赤系(色あせ),白系(褐変・花弁の縁部分の縮)品種で観察された。出荷時の生育等と花壇での連続開花性を総合して優れていた品種は ソルベ イエローデライト であった。

### 3. メモ

ビオラはパンジーと同様に耐暑性と冬期の開花の連続性が求められている。さらに,ビオラはパンジーよ

り到着日数が長いことから,出荷には開花揃いに留意して品種選定する必要がある。

### ・4月出荷におけるマリーゴールド(フレンチ種)のポットサイズと品種特性

#### 1. 栽培条件

ポット:表3の品種を200穴セルトレイに1穴1粒ずつ,2001年2月15日に播種。以後はガラス室内,最低気温12で管理。本葉2枚(3月5~9日)の状態のとき,他県慣行の9cmポットに1本植(大川ら,1999),東京の慣行である10.5cm・12cmポットに4本植で鉢上げ。追肥は液肥(15-30-15)2000倍を4月10日,3000倍を4月18日に施用。

花壇:9cm・10.5cmポット苗を5月8日に定植。株間・条間20cm,各品種30鉢2反復。

表2 ビオラの品種特性

品種名	販売会社	10.5cmポットでの生育 <sup>a)</sup>						開花数 <sup>b)</sup>		評価 <sup>c)</sup>
		株張 (cm)	株高 (cm)	葉長 (cm)	花径縦 (cm)	開花 月/日	花色 系	12下~2 下 <sup>b)</sup>	総開花 数 <sup>c)</sup>	ポット
カルカラータセレクト	東	23.2	15.1	8.5	4.1	10/30	紫	708	2473	
コスモレッド	サ	14.6	16.1	6.7	3.9	10/21	赤	441	2213	
スーパービオラ アクアマリン	サ	25.7	18.4	8.0	4.2	10/23	紫	761	2583	
スーパービオラ トパーズイエロー	サ	17.8	16.0	7.9	3.6	10/15	黄	766	3162	
スーパービオラ ブラックオパール	サ	18.9	13.1	6.9	4.2	10/21	黒	478	2961	
ソルベ YTT	ミ	17.8	11.0	7.3	3.5	10/ 8	紫	704	3534	
ソルベ イエローデライト	ミ	22.7	16.6	7.4	3.3	10/15	黄	1389	4934	
ソルベ オレンジデュエット	ミ	17.9	12.6	7.9	3.5	10/15	2色	597	3033	
ソルベ サニーロイヤル	ミ	24.8	12.6	8.6	3.5	10/ 4	2色	874	3353	
ソルベ ブルーベリークリーム	ミ	20.8	13.4	5.0	3.3	10/15	紫	856	3453	
ニューサビック イエロー	サ	16.5	15.4	7.7	3.7	10/15	黄	1034	3781	
ニューサビック スノー	サ	15.5	13.9	6.2	3.9	10/15	白	437	2225	
ニューサビック パープルフェイス	サ	20.8	12.1	7.4	3.9	10/18	フェイス	709	2771	
ニューサビック ライトブルー	サ	20.8	14.0	7.8	3.5	10/15	紫	787	3898	
パープルキッズ	東	20.0	13.2	8.1	3.5	10/ 8	紫	711	3058	
ビビ クリアオーシャン	タ	22.1	12.5	3.6	3.1	10/ 4	紫	1150	4260	
ビビ ピンクシェード	タ	12.0	12.3	6.6	3.6	10/ 8	赤	232	1999	
ビビ フロスティブルー	タ	18.7	13.4	6.9	3.5	10/ 8	紫	1016	4701	
ビビ ライトローズウイズブロッチ	タ	17.3	13.6	6.6	3.8	10/30	赤	479	2220	
ベニーイエロージャンプアップ	東	28.9	13.1	6.9	4.2	10/ 4	2色	658	3429	
ベニーオレンジジャンプアップ	東	19.3	15.8	6.8	3.1	10/ 4	2色	1163	5214	
ロッキー イエローウィズブロッチ	シ	20.4	13.2	8.8	3.7	10/ 8	黄	755	3572	
ロッキー パープルウィズフェイス	シ	18.5	11.6	7.7	3.9	10/ 8	フェイス	509	1962	
ロッキー ピュアホワイトインブルーブド	シ	18.9	16.5	7.6	4.0	10/15	白	792	2467	
ロッキー ライトブルーウィズフェイス	シ	15.6	11.7	6.5	4.0	10/15	フェイス	603	2649	

a) 生育：出荷適期の株が80%を超えた時（開花開始より約2週間後）調査，1品種30株（開花日54株）供試，株高：全体の高さ，開花月/日：第1花が開花した株が80%をこえた時。

b) 12下~2下：冬期（12月下旬~2月下旬調査，3回，各回30株計）の総開花数。

c) 試験期間（2002年11月中旬~2003年5月上旬調査，8回，各回30株計，2反復）の総開花数。

d) ポットにおけるそろい等の評価：2002年11月5日種苗審査会結果，は優れた品種。

## 2. 品種特性と有望品種（表3，4）

ポット：ほとんどの品種で生育は良好であった。各ポットサイズで株張り等が小さく不向きと考えられた品種は9cmポットでは花色が黄色のドラゴン，ボナンザ（発売元による），オレンジのリトルヒーロー，複色 リトルヒーロー ファイヤー，10.5cmおよび12cmポットでは，リトルヒーロー オレンジ であった。到花日数はポットサイズによる差はなく，品種により53~63日であった。ポット当たりの第1花開花後の側枝からの開花数は，黄色，オレンジではボナンザ，複色では アトン イエローレッド，アトン レッドゴールド が10.5cm及び12cmポットともに多かった。花径・花弁数は各ポットサイズとも同様であった。花弁の重なり程度により，ボリューム感のある品種とない

品種があった。各ポットサイズともに ボナンザ オレンジ，アトン フレーム の評価が高かった。

花壇：定植後の開花数は，9cm1本植と10.5cmポット4本植で各品種とも同程度開花した。開花数の多かった品種は，黄色では デュランゴ イエロー，マーチ エロー など，オレンジでは ボナンザ オレンジ，複色では サファリ ボレロ などであった。本作型では ボナンザ オレンジ，アトン フレーム がポットでの評価及び花壇での開花数ともに優れていた。

## 3. メモ

東京都における花壇用マリーゴールド（フレンチ種）の主な出荷規格は10.5cmポットに4本植，開花に到っ

た状態であり，他産地にない形態である。また，江東地域では12cmポット4本植も多くみられる。都外の産地では9cmポット1本植，未開花株での出荷が中心となっており，出荷規格に応じた品種選択が必要となる。

各ポットサイズともに本作型においては高温を好むマリゴールドの低温時期での株張りなど生育の優れた品種が優良である。

表3 マリゴールドのポットサイズと品種特性（生育）

品種名 (色別)	販売 会社	株張(cm)				株高(cm)				葉数/株		
		ポットサイズ(cm)				ポットサイズ(cm)				ポットサイズ(cm)		
		出蕾時	開花時			出蕾時	開花時			開花時		
	9	9	10.5	12	9	9	10.5	12	9	10.5	12	
アトン イエロー	ノ	10.2	18.9	26.3	29.3	6.3	11.2	11.4	13.7	19.9	23.5	28.1
エロージャケット	サ	10.5	20.8	25.7	29.8	5.3	10.8	10.5	12.0	31.5	28.8	26.6
デュランゴ イエロー	ミ	9.0	16.0	25.1	27.4	5.2	7.9	10.0	11.7	27.8	27.8	26.0
ドラング エロー	サ	8.8	15.6	26.3	28.3	4.5	7.6	9.7	10.9	22.0	19.2	27.6
ボナンザ イエロー	園	10.5	17.1	22.5	28.9	5.2	9.4	8.8	11.3	23.9	16.2	29.7
ボナンザ イエロー	ミ	9.3	17.8	23.7	26.9	5.0	9.4	9.2	11.2	33.9	19.4	32.1
マーチ エロー	サ	9.8	19.5	24.4	28.1	5.1	9.7	9.1	11.6	35.8	22.4	34.4
リトルヒーロー エロー	タ	12.6	20.1	24.3	26.9	4.8	7.2	7.4	8.5	30.8	17.9	26.8
ドラング オレンジ	ミ	13.6	21.4	26.0	28.4	5.9	11.4	10.4	11.7	22.6	15.1	18.3
ボナンザ オレンジ	サ	11.9	23.0	28.4	30.3	4.9	8.3	8.9	9.6	21.4	14.6	26.4
ボナンザ オレンジ	園	12.7	24.5	28.4	30.7	5.9	9.9	9.6	11.6	28.2	14.6	26.4
リトルヒーロー オレンジ	タ	9.2	16.2	21.2	24.5	3.8	6.2	5.7	8.0	24.8	15.1	24.7
アトン ゴールド	ノ	13.0	22.6	24.9	28.1	6.5	10.2	9.3	12.0	33.6	20.8	24.6
サファリ ゴールド	園	12.2	20.0	27.1	28.5	5.3	11.7	12.0	14.5	26.4	18.6	25.7
ボナンザ ゴールド	園	13.7	25.4	28.8	31.0	6.4	10.8	9.5	12.6	27.8	19.9	23.2
アトン イエローレッド	ノ	10.3	22.9	23.9	27.5	5.9	9.8	8.8	11.8	28.7	21.4	25.6
アトン ファイヤー	ノ	13.1	22.6	26.6	27.4	6.1	9.2	8.6	10.1	28.3	18.1	28.3
アトン フレーム	ノ	14.0	20.7	26.1	27.7	5.3	9.5	9.1	11.7	33.0	21.0	24.7
アトン レッドゴールド	ノ	11.3	19.7	26.6	30.1	6.4	9.1	9.2	11.2	25.9	17.4	24.2
オレンジマリエッタ	サ	12.2	20.5	25.7	27.9	6.1	9.2	10.1	12.0	25.8	20.6	25.5
クイーンソフィア	サ	12.2	22.9	28.9	30.7	5.2	10.9	11.8	13.8	20.2	11.1	21.2
サファリ タンジェリン	園	13.4	24.9	27.1	29.0	5.2	10.5	9.6	11.7	27.4	14.2	23.1
サファリ ポレロ	園	11.5	21.1	24.1	31.0	4.4	10.0	10.3	13.7	25.1	21.6	28.1
ボナンザ フレーム	ミ	14.7	24.9	27.2	27.6	5.3	7.7	8.8	10.0	19.6	17.3	24.1
ボナンザ ポレロ	ミ	13.1	22.9	24.3	27.1	5.8	9.1	8.5	10.5	40.2	22.3	28.7
リトルヒーロー ファイヤー	タ	9.3	16.6	24.2	26.5	4.8	7.3	7.4	9.2	17.1	20.0	29.0

注) 生育調査は出荷時の株が80%を超えた時点でおこない，10.5・12cmポットでは4株定植時の草姿，各品種・ポットサイズポットとも30ポット供試した。9cmポットでは出蕾時に出荷される場合もあるため別記する。

## バーベナの品種特性

### 1. 栽培条件

ポット：表5の品種を2003年1月9日に播種。2月17～19日に10.5cmポットへ鉢上げ。

花壇：種子系品種（表5）に加えて，栄養系5品種を各20株2反復，株間・条間20cm，4月24日に定植（図1）。

### 2. 品種特性と有望な品種（表5，図1）

ポット：イマジネーションは他の品種と比較して草丈，株張りが大きく，葉は羽状（他の品種ではさじ状）であった。80%の株が開花に到った日は早い品種イマジネーションで4月11日，遅い品種ロマンスアップルブロッサムで4月24日であった。花序直径はイマジネーション，ベスタホワイトで小さく，クオーツホワイトで大きかった。小花数はイマジネーションが多かった。ポットでの

表4 マリーゴールドの開花とポットサイズと品種特性（開花）

品種名 (色別)	開花日 <sup>a)</sup> 月/日	開花数 <sup>b)</sup> (4/22)		花径 <sup>c)</sup> cm	花弁 数 <sup>d)</sup>	開花数		ポットの評価 <sup>e)</sup>		
		ポット サイズ (cm)	ポット サイズ (cm)			5～9月, 7回調査 計, 各回30ポット計, 2反復		開花時		
						ポットサイズ(cm)		ポットサイズ(cm)		
		10.5	10.5 12	10.5	10.5	9	10.5	9	10.5	12
アトン イエロー	4/14	0.2	0.3	5.8	4.0	1027	842			
エロージャケット	4/13	0.0	0.0	4.9	4.2	1667	1236			
デュランゴ イエロー	4/11	1.2	2.1	6.6	3.6	1132	1316			
ドラング エロー	4/12	1.1	2.6	6.7	3.7	1350	1360			
ボナンザ イエロー	4/10	1.2	3.3	5.4	4.1	1396	1270			
ボナンザ イエロー	4/11	1.9	5.2	5.8	3.9	1313	1026			
マーチ エロー	4/13	0.6	1.0	5.1	3.5	1220	1160			
リトルヒーロー エロー	4/10	1.1	2.7	5.5	3.8	835	828			
ドラング オレンジ	4/11	0.4	1.4	7.0	4.9	826	908			
ボナンザ オレンジ	4/ 8	3.8	7.1	5.7	4.0	1191	1100			
ボナンザ オレンジ	4/11	0.3	0.9	6.2	4.5	1099	868			
リトルヒーロー オレンジ	4/11	0.1	0.3	5.5	4.1	602	704			
アトン ゴールド	4/11	0.7	1.3	5.5	3.9	1109	828			
サファリ ゴールド	4/14	0.0	0.5	6.4	4.8	642	1147			
ボナンザ ゴールド	4/11	0.9	2.5	5.4	3.9	1065	713			
アトン イエローレッド	4/10	3.1	4.0	5.4	4.1	1177	1210			
アトン ファイヤー	4/11	0.7	2.4	6.3	3.6	1108	794			
アトン フレーム	4/12	2.6	2.5	5.2	4.0	1510	1456			
アトン レッドゴールド	4/ 9	2.8	4.3	5.3	3.2	1026	1171			
オレンジマリエッタ	4/15	0.6	1.3	6.1	1.0	1927	1832			
クイーンソフィア	4/19	0.0	0.0	3.9	4.1	1525	762			
サファリ タンジェリン	4/13	0.0	0.3	6.7	4.7	1398	1280			
サファリ ボレロ	4/13	0.0	2.1	7.5	5.0	1671	1764			
ボナンザ フレーム	4/ 9	0.8	3.8	6.2	3.5	1295	1386			
ボナンザ ボレロ	4/10	1.1	2.0	6.2	4.1	1139	871			
リトルヒーロー ファイヤー	4/ 9	0.6	2.9	5.3	3.9	630	686			

注) a), e)は各品種50ポット供試, b), c), d)は各品種30ポット供試。

a) 開花日: 1ポット4株平均。

b) 開花数: ポット当の側枝における開花数。

c) 花の直径: 第1花。

d) 花弁数は舌状花の重なり, 4株平均。

e) ポットの評価: 2003年4月25日種苗審査会結果, は優れた品種。

評価は オブセッション ピンクインブルーブド など  
で優れていた。

花壇: 開花数は オブセッション ホワイト , ク  
オーツ スカーレット(タ) で多かった。両品種の  
開花は定植初期より多く, 8月以後の調査では少なか  
った。栄養系品種 ファンシー パフェ は調査終了  
までおおむね平均して開花し, 総開花数も多かった。

オブセッション ホワイト , クオーツ スカー  
レット は出荷時の品質および花壇定植後の開花の連  
続性両面において優れていた。

### 3. メモ

花壇定植後の開花は品種間差が大きく, 連続開花し  
ない品種があり, 注意が必要である(Phillips, 1999)。

### 4. 4月出荷におけるペチュニア (種子系品種)の品種特性

#### 1. 栽培条件

ポット: 表6の種子系ペチュニア品種をピートバン  
に2002年1月11日に播種。2月12~15日に10.5cmポ  
ットへ鉢上げ。栽培期間の平均温度は約18。

表5 バーベナの品種特性

品種名	販売会社	草丈 (cm)	株張 (cm)	葉身長 (cm)	分枝数	花序直径(mm)	小花数	蕾(花序)数	開花日 <sup>a)</sup> 月/日	評価 <sup>b)</sup> ポット
イマジネーション	サ	33.6	46.1	6.5	14.6	32.8	50.7	8.6	4/11	
オブセッション アプリコット	シ	15.3	23.1	5.8	12.8	57.7	21.6	23.2	4/21	
オブセッション コーラルウィズアイ	シ	15.5	21.8	6.8	12.2	60.9	23.6	23.0	4/19	
オブセッション ピンクインブルー	シ	14.2	22.8	5.1	12.6	55.9	29.1	26.5	4/23	
オブセッション ホワイト	シ	14.4	22.7	5.7	11.8	59.4	22.0	28.1	4/20	
オブセッション ライトブルーウィズアイ	シ	16.1	22.6	6.2	12.2	62.6	28.5	19.9	4/23	
クォーツ スカーレット	タ	19.8	24.6	7.3	13.0	60.7	28.9	13.6	4/18	
クォーツ スカーレット	サ	20.1	26.0	6.7	12.2	61.9	33.0	16.5	4/20	
クォーツ スカーレット	ミ	18.5	33.9	6.1	12.1	61.5	23.1	15.2	4/18	
クォーツ パーガンディ	ミ	19.9	23.4	5.7	13.4	58.9	25.9	25.4	4/21	
クォーツ ブルー	ミ	20.8	28.0	6.1	10.0	63.3	27.9	21.2	4/21	
クォーツ ホワイト	ミ	16.3	22.6	5.8	12.4	64.2	26.2	16.8	4/20	
クォーツ マゼンタ	ミ	18.5	23.4	6.0	12.9	62.9	26.1	15.0	4/20	
クォーツ ミックス	タ	19.5	28.5	5.8	13.4	64.9	30.5	22.1	4/21	
ベスタ ピンクミックス	サ	13.0	20.5	5.7	12.1	53.3	25.8	23.8	4/20	
ベスタ ホワイト	サ	14.4	21.6	5.6	12.9	52.9	27.2	27.7	4/21	
ロマンス アプリコット	東	17.1	36.0	4.7	12.8	66.0	25.7	24.3	4/24	
ロマンス アプリコット	東	16.2	23.8	6.1	11.5	58.7	24.0	17.5	4/17	
ロマンス スカーレット	東	15.1	22.7	5.2	13.1	61.1	21.5	25.3	4/21	
ロングラン ミックス	タ	27.8	33.5	4.9	11.9	36.7	48.4	8.4	4/18	

注) 2003年4月30日調査, 1品種20株(開花日35株)供試。

a) 開花日: 80%の株が開花に到った月/日。

b) 評価: 2003年4月23日種苗審査会結果, は優れた品種。

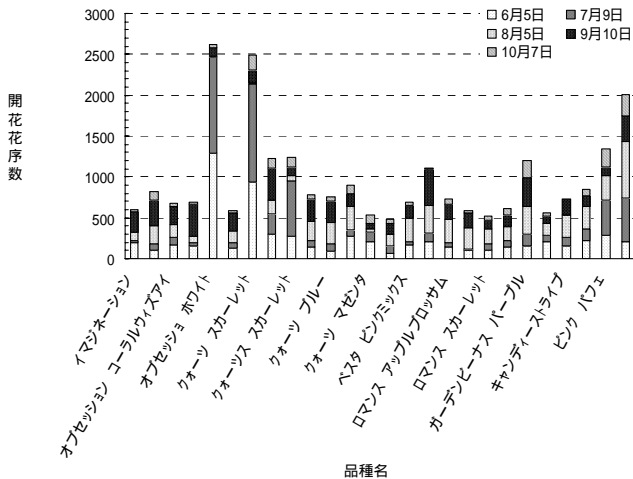


図1 バーベナの圃場定植後の開花数

注) 20株合計, 2反復調査。

花壇: ポット苗を5月15日に定植。株間・条間30cm, 各品種24株2反復。

2. 品種特性と有望な品種(表6)

ポット: 草姿について バカラ ホワイト は横張

性, ブラボー ピーチフレアー, ブラボー パープル, ダブルデュオ ラベンダー は立性の特徴があった。花径の品種間差は約3cmあった。開花日は イーグル ピンク, フラー コーラルフレアー で3月27日, ロンド レッドピコティ で4月12日であった。開花揃いに品種間で差が認められた。着らい数は品種により14~28個で, どの品種も小売店での開花の連続性はあると推察された。花持ちは全品種において約1週間以上あった。花径は小輪では カーペット ローズ 等~大輪では ブラボー ピーチフレアー などであった。株張り, 株高のバランスが良い フラー ブルーベイン 等9品種はポットでの評価が高かった。

花壇: 開花数は ロンド ローズ, ピンク, カーペット ピンク, バカラ ホワイト で多く, 梅雨後も順調に開花した。全品種において9月上旬頃から枯れ込む株が認められた。ポットでの評価が高く, 花壇での開花に優れていた品種は ロンド ローズ, バカラ ホワイト であった。

### 3. メモ

ペチュニアは、梅雨期には開花数の減少、病気の発生がみられる（安藤，1992）。

バカラ ホワイト では開花数が多いため花の傷み等が目立たず、夏の花壇での利用が可能である。

表6 種子系ペチュニア品種の生育特性

品種名（色系別）	販売会社	株張（cm）	株高（cm）	分枝数	花径（cm）	着蕾数 <sup>a)</sup>	開花日	第1花開花期間（日）	開花数 <sup>b)</sup>	評価 <sup>c)</sup> ポット
フラワーブルーベイン	シ	18.2	10.0	10.3	7.7	26.2	3/31	10.5	1002	
バカラマゼンタ	サ	23.1	9.7	7.3	7.7	26.3	3/31	8.9	827	
フラッシュスカイ	シ	23.1	13.1	6.9	8.7	19.4	3/31	10.6	672	
ブラボーパープル	シ	24.1	13.0	7.2	9.9	25.0	4/ 4	12.8	594	
バカラプラム	サ	21.4	12.3	6.4	8.6	17.5	4/ 6	9.3	588	
ダブルデュオラベンダー	ミ	22.4	13.1	6.2	7.8	26.0	4/ 5	7.1	500	
ロンドローズ	タ	20.2	10.4	7.4	6.9	27.0	4/ 2	9.6	1573	
イーグルピンク	サ	18.2	10.9	7.5	9.5	14.0	3/27	10.8	630	
カーペットローズ	ミ	20.2	9.9	8.3	6.4	14.9	3/30	9.0	1845	
イーグルレッド	サ	20.4	10.3	8.7	8.8	19.1	4/ 1	9.8	391	
ロンドレッドピコティ	タ	20.7	11.6	5.7	7.5	28.2	4/12	7.2	1001	
ロンドスカーレットスター	タ	20.5	10.1	10.6	6.6	26.1	4/ 1	9.3	930	
ブラボーピーチフレアー	シ	22.9	12.9	6.0	10.0	15.8	3/31	13.6	481	
ドリームローズ	ミ	24.4	11.3	7.7	9.4	16.8	3/31	8.9	525	
ロンドピンク	タ	19.7	10.3	6.2	6.7	26.2	4/ 2	12.6	1920	
フラワーコーラルフレアー	シ	22.0	10.6	6.0	7.0	18.4	3/27	8.4	1205	
カーペットピンク	ミ	21.6	11.3	6.4	6.8	22.9	3/31	9.2	1611	
ロンドローズスター	タ	20.8	11.3	6.9	7.0	27.1	4/ 1	8.0	1069	
ダブルデュオレッド	ミ	23.6	13.5	5.2	7.9	16.2	4/ 7	7.5	358	
バカラホワイト	サ	20.8	10.0	10.5	7.5	21.4	3/30	12.3	1621	

注) 出荷適期の株が80%を超えた時（開花日より約2週間後）生育調査，1品種30株供試。

a) 着蕾数：第1花開花時。

b) 開花数：調査期間中（7～9月調査，4回，各回24株計，2反復）の総計。

c) ポットでの評価：2002年4月24日種苗審査会結果，は優れた品種。

### ・栄養系ペチュニアの花壇定植後の品種特性

#### 1. 栽培条件

花壇：栄養系品種（表7）の市販形態のポット苗を，2003年5月9日に定植。各品種4株3反復，株間・条間40cm。元肥として10a当り緩効性肥料（10-10-10）140kgおよび堆肥2t施用。

#### 2. 品種特性と有望な品種（表7，表8）

定植1ヵ月後の生育：株張りの伸長割合（%），開花数の増加割合（%）共に高かった品種は プチレ プチホワイト，プチダブルピンク，エミネニア プリラントピンク，ダブルホワイトであった。ほとんど株張りが増加しなかった品種は サフィニア グラ

ンパープル，スーパーチュニア ミニブライトパープルであった。両品種とも開花数は増加したので，これらの品種は他用途への使用が可能である。

花壇での開花：花壇への利用は サフィニア ブルー，エミネニア ピュアホワイト，プリエッタ ホワイトの開花面積が広く，適している。また，ドレスアップ ライラック は8，9月に良く開花し，10月調査日にも咲き続けていたため，秋以降の開花を期待する場合には ドレスアップ ライラック の利用ができる。

### 3. メモ

ペチュニアの栄養系品種は比較的雨に強く，生育が旺盛である（別所，1992）。初期生育，開花等品種間

差が認められたため、花壇での利用には品種を選定する必要がある。

供試品種における花径の差が大きかったため、開花

状況を指数化し、花壇の観賞性を表した。指数は開花中の花の総面積を推定し、花が花壇を覆っている割合とした。

表7 栄養系ペチュニア品種の定植初期の生育

品種名	販売会社	株張			開花数		
		5月9日 (a) cm	6月6日 (b) cm	伸長% (b - a)/a	5月9日 (c)	6月6日 (d)	増加% (d - c)/c
エミネニア ピュアホワイト	住	12.1	24.7	204	83	412	496
エミネニア プリラントピンク	住	13.5	36.8	273	44	469	1066
エミネニア ダブルホワイト	住	14.0	35.3	252	16	141	881
サフィニア ローズベイン	サン	13.1	36.8	281	94	267	284
サフィニア パープル	サン	17.1	23.1	135	44	197	447
サフィニア ブルー	サン	14.5	24.8	171	48	218	453
サフィニア グランパープル	サン	18.5	20.5	111	102	288	282
サフィニア レッド	サン	14.8	18.4	124	41	141	344
サフィニア ライトブルーミニ	サン	13.9	27.4	197	33	279	844
サルサ クリームイエロー	タ	15.5	32.3	208	49	284	580
サルサ ピュアホワイト	タ	17.2	28.0	163	35	155	443
スーパーチュニア ミニストリベリーベイン	白	13.5	27.3	202	54	292	540
スーパーチュニア ミニパープル	白	13.5	28.8	213	59	301	509
スーパーチュニア ミニパープルベイン	白	16.6	28.1	169	94	260	276
スーパーチュニア ミニピュアホワイト	白	15.9	24.1	152	69	298	431
スーパーチュニア ミニブライトパープル	白	26.7	27.1	101	21	214	1017
ドレスアップ ローズ	タ	12.1	24.6	203	13	53	408
ドレスアップ ライラック	タ	14.8	24.6	166	13	137	1054
ドレスアップ ライム	タ	15.8	21.8	138	26	59	225
プチレ プチホワイト	住	12.1	36.8	304	22	400	1818
プチレ プチダブルピンク	住	14.1	37.9	269	76	551	725
ブリエッタ ホワイト	園	11.6	27.1	234	127	1171	922
ブリエッタ フリルピンク	園	13.0	21.5	165	103	927	900
ブリエッタ バイオレット	園	13.0	20.4	157	105	480	457
ブリエッタ サーモンピンク	園	13.5	24.4	181	97	787	811
リリカシャワー ローズ	サ	20.0	38.6	193	329	394	120
リリカシャワー エロー	サ	25.9	35.9	139	265	182	68

注) 1品種4株2反復供試，開花数は4株合計。



表8 開花中の花の被覆面積からみた栄養系ペチュニア品種における観賞性

品種名	販売会社	調査日 月/日 <sup>a)</sup>			
		7/4	8/4	9/8	10/8
エミネニア ピュアホワイト	住				
エミネニア プリラントピンク	住				
エミネニア ダブルホワイト	住				
サフィニア ローズベイン	サン				
サフィニア パープル	サン				
サフィニア ブルー	サン				
サフィニア グランパープル	サン				
サフィニア レッド	サン				
サフィニア ライトブルーミニ	サン				
サルサ クリームイエロー	タ				
サルサ ピュアホワイト	タ				
スーパーチュニア ミニストリベリーベイン	白				
スーパーチュニア ミニパープル	白				
スーパーチュニア ミニパープルベイン	白				
スーパーチュニア ミニピュアホワイト	白				
スーパーチュニア ミニブライトパープル	白				
ドレスアップ ローズ	タ				
ドレスアップ ライラック	タ				
ドレスアップ ライム	タ				
プチレ プチホワイト	住				
プチレ プチダブルピンク	住				
ブリエッタ ホワイト	園				
ブリエッタ フリルピンク	園				
ブリエッタ バイオレット	園				
ブリエッタ サーモンピンク	園				
リリカシャワー ローズ	サ				
リリカシャワー エロー	サ				

a) は花が花壇を覆っている面積(花径<sup>2</sup>×3.14×開花数)cm<sup>2</sup>が花壇の面積(140×100cm)cm<sup>2</sup>の80%を超えた調査日、は50%、は30%、4株定植、2反復。5月9日、6月6日にも調査を実施したが該当なし。

引用文献

安藤敏夫(1992)Flower Landscaping. 講談社,東京. pp.30 .  
 Ball,Vic. (1997) Ball Red Book.Reston Publishing Company, Icn., America. pp.152-153 .  
 別所雅夫(1992)農業技術体系花卉編8 1・2年草. 農文協,東京. pp.619-624 .

池田幸弘(2000)花壇苗生産の技術と経営. 農文協,東京. pp.10-11 .  
 記念誌編纂委員会(2000)東京農業と試験研究100年のあゆみ. 東京都,東京. pp.182-185.  
 大川清・今西英雄(1999)花卉入門. 実教出版,東京. pp.192-194 .  
 Phillips,R and M.Rix(1999)Annuals and Biennials. Macmillan, England. pp.212-215.

